

2018年3月期【通期】連結決算ハイライト

(単位:百万円)

通期 実績 (対前期比)	2017/3期 (2016/4~2017/3)		2018/3期 (2017/4~2018/3)		対前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	85,073	100.0%	106,648	100.0%	21,575	25.4%
営業利益	5,103	6.0%	6,511	6.1%	1,407	27.6%
営業外収益	1,123	1.3%	1,416	1.3%	293	26.1%
営業外費用	799	0.9%	1,219	1.1%	419	52.5%
うち支払利息	455	0.5%	788	0.7%	313	68.8%
うち為替差損	101	0.1%	157	0.1%	55	54.7%
経常利益	5,427	6.4%	6,708	6.3%	1,281	23.6%
特別利益	200	0.2%	-	-	△200	-
特別損失	2,449	2.9%	141	0.1%	△2,308	△94.2%
税金等調整前当期純利益	3,178	3.7%	6,567	6.2%	3,389	106.6%
法人税等	1,714	2.0%	2,221	2.1%	506	29.6%
法人税等調整額	△1,086	△1.3%	217	0.2%	1,303	-
非支配株主に帰属する 当期純利益	△85	△0.1%	846	0.8%	932	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,635	3.1%	3,281	3.1%	645	24.5%
為替レート(1USD/円)	116.49		113.00			
為替レート(1ユーロ/円)	122.70		134.94			

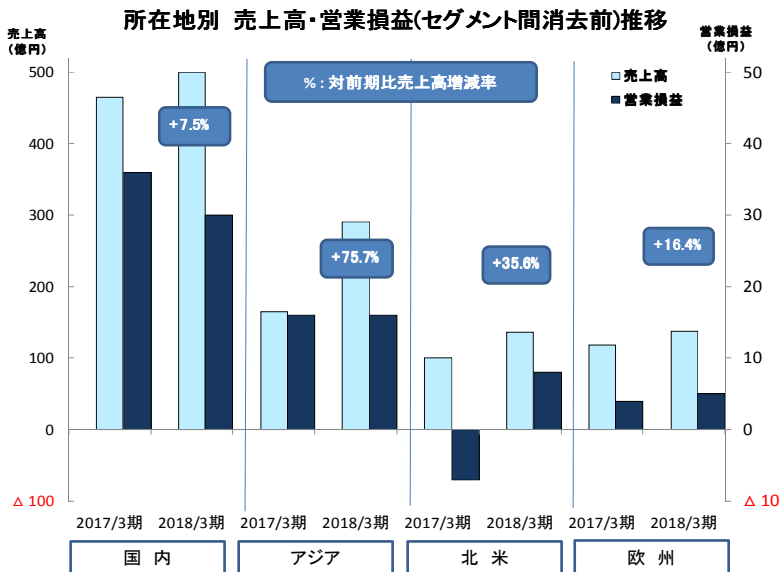
左記為替レートは  
各期12月末TTMLレート

通期 業績推移	実績				予想	
	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期	2019/3期 第2四半期 (累計)	2019/3期 通期
売上高	85,015	81,400	85,073	106,648	52,500	107,000
営業利益 (営業利益率)	7,633 (9.0%)	7,114 (8.7%)	5,103 (6.0%)	6,511 (6.1%)	2,800 (5.3%)	6,700 (6.3%)
経常利益 (経常利益率)	8,129 (9.6%)	6,796 (8.3%)	5,427 (6.4%)	6,708 (6.3%)	2,900 (5.5%)	6,900 (6.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (純利益率)	4,459 (5.2%)	3,919 (4.8%)	2,635 (3.1%)	3,281 (3.1%)	1,800 (3.4%)	4,700 (4.4%)
為替レート(1USD/円)	120.55	120.61	116.49	113.00	105.00	
為替レート(1ユーロ/円)	146.54	131.77	122.70	134.94	130.00	

上記通期実績の為替レートは各期12月末TTMLレート

セグメント情報 (事業別)	外部顧客への売上高					
	2017/3期 通期		2018/3期 通期		対前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
自動車用エンジン軸受	59,365	69.8%	65,265	61.2%	5,899	9.9%
自動車用エンジン以外軸受	12,757	15.0%	14,266	13.4%	1,508	11.8%
非自動車用軸受	9,691	11.4%	9,324	8.7%	△366	△3.8%
自動車用軸受以外部品	1,241	1.4%	15,773	14.6%	14,532	1154.6%
その他(※)	2,017	2.4%	2,219	2.1%	201	10.0%
合計	85,073	100.0%	106,648	100.0%	21,575	25.4%

(※)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。



主要財務指標	2015/3末	2016/3末	2017/3末	2018/3末	対前期末比
売上高営業利益率	9.0%	8.7%	6.0%	6.1%	+0.1pt
自己資本当期純利益率(ROE)	10.8%	9.0%	5.9%	6.9%	+1.0pt
自己資本比率	37.4%	35.8%	29.1%	30.8%	+1.5pt
純有利子負債(有利子負債一現預金)	17,964	23,237	49,108	52,129	3,020

設備投資・減価償却	2014/3期 通期	2015/3期 通期	2016/3期 通期	2017/3期 通期	2018/3期 通期	対前期比
設備投資	10,838	10,597	14,802	12,329	8,694	△3,635
減価償却費	5,027	5,744	6,259	6,751	8,795	2,043

(注1) 業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(注2) 2018/3期において、ATAキャスティングテクノロジー・ジャパン株式会社の企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2017/3期の主要財務指標については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の見直しに反映された後の金額によっております。

《2018/3期 決算概要(前期対比)》

【売上高】

前期対比215.7億円(+25.4%)の増収。

《国内》 前期対比34.9億円(+7.5%)の増収。

自動車関連は完成車メーカーの堅調な国内生産を受け、自動車用エンジン軸受とターボチャージャー用軸受販売などが伸長し増収。船舶向け軸受販売は船腹過剰が継続しており減収。建設機械向け軸受販売は中国・米国などの好調により増収となった。前連結会計年度に買収した会社の今期増加分の売上高21.6億円が加わり34.9億円の増収となった。

《海外》 前期対比180.7億円(+47.0%)の増収。

北米の自動車関連軸受販売及び建設機械向け軸受販売が伸長し、欧州(ロシア含む)・アジアも伸長した。前連結会計年度に買収した会社の海外子会社の売上121.6億円も加わり大幅増収となった。

【利益】 素材価格の上昇、買収2社関連での一時的な費用増などが生じたが、メキシコの工場の受注拡大に追従出来る生産体制の構築による利益貢献などにより、営業利益は65.1億円と前年度に比べ14.0億円の増益となり、経常利益は67.0億円と同12.8億円の増益となった。親会社株主に帰属する当期純利益は子会社での固定資産減損損失1.4億円などを計上したものの32.8億円と同6.4億円の増益となった。

《2019/3期 業績予想について》

2019/3期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想は、左記のとおりです。

《配当推移・予定について》

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期 (予定)
中間	13円	15円	15円	予定 15円
期末	13円	15円	予定 15円	予定 15円
年間	26円	30円	予定 30円	予定 30円

次期は年間配当30円を予定しております。

《所在地別(前期対比)》

◇国内

前期対比の売上高増減率は+7.5%

《自動車関連》 完成車メーカーの堅調な国内生産を受け、ターボチャージャー用軸受・高付加価値エンジン用軸受などが増加した。

《建設機械向け》 建設機械向け軸受販売が輸出を含めて増加した。

《船舶向け》 大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受販売・中小型船舶向け中高速ディーゼルエンジン用軸受販売が輸出を含めて減少した。

《一般産業向け》 再生可能エネルギー向けは堅調なものの、石炭・石油火力発電設備用の特殊軸受などが苦戦した。

・営業損益は素材価格の上昇、及び業務委託費、運送費など一般管理費の増加を受けて減益となった。

◇海外(12月決算の会社については1~12月の累計)

【アジア】 前期対比の売上高増減率は+75.7%

自動車用エンジン軸受販売では中国、タイを中心に堅調に推移し、買収した会社の海外子会社売上高100.9億円が加わったことも寄与し売上高は大きく増加した。営業損益は素材価格の上昇や買収した会社ののれんの償却などによりわずかに減益となった。

【北米】 前期対比の売上高増減率は+35.6%

メキシコの工場の生産拡大と建設機械需要の回復、買収した会社の海外子会社売上高20.6億円が加わったことも寄与し売上高は大きく増加した。営業損益も前期のメキシコ工場増産に伴うコスト増要因が減少し大幅増益となった。

【欧州】 前期対比の売上高増減率は+16.4%

欧州(ロシアを含む)では、自動車関連を中心に全般的に堅調に推移し、売上高は増加した。営業損益も、売上高増加に伴い増益となった。